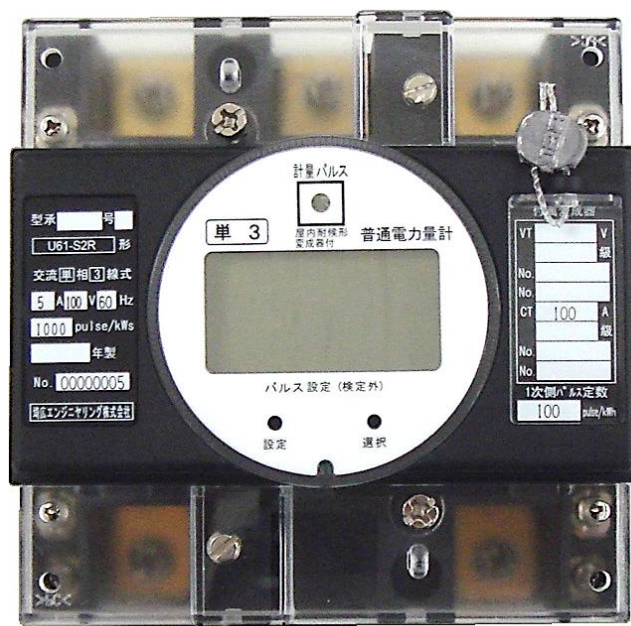


電子式普通電力量計 (変付計器・通信機能付・パルス出力機能付) 取扱説明書



U61-S2R: 交流単相 3 線式
U71-S2R: 交流三相 3 線式

このたびは、電子式普通電力量計「U61-S2R、U71-S2R」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読み下さい。
また、この取扱説明書はお読みになった後は、いつでもご覧になれる場所に保管して下さい。

埼玉エンジニアリング株式会社

目次

安全上のご注意	2
各部の名称と機能	5
取付方法	6
接続方法	8
表示機能	10
表示部の回転機能	12
発信パルスの設定	13
合成変成比の設定	15
補助銘板の表示について	20
合成変成比・乗率一覧表	21
パルス単位および合成変成比の設定許容範囲	23
仕様一覧表	24
外形寸法図	25
付属品	26
困った時は	27
保証期間	27

安全上のご注意

本計器を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読み下さい。

免責事項

- ◎ 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の使用または使用不可能あるいは設定の誤りから生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 取扱説明書で説明された以外の使い方、工事によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、一切の責任を負いません。

安全に対して、[注意]、[危険] に分けて表示しています。



注意（取扱を誤った場合、機能低下や誤計量となることが想定されます。）

- ◎ 本製品は、屋内形計器です。計器の故障や性能低下を防ぐため、次のような場所への設置はしないで下さい。
 - ・ 周囲温度が -10°C ～ $+40^{\circ}\text{C}$ の範囲を超える場所（日平均周囲温度は 35°C 以下）
 - ・ 周囲湿度が90%RHを超える場所
 - ・ 結露の恐れがある場所
 - ・ 雨水、水滴が直接あたる場所
 - ・ 強い磁界、電界が発生する場所
 - ・ ノイズ、サージを発生しやすい機器のある場所
 - ・ 振動、衝撃の加わる場所
 - ・ 煤煙、ほこり、腐食性ガスがある場所
 - ・ 化学薬品などを貯蔵・取り扱う場所
- ◎ 周囲温度が -20°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ の範囲を超える場所には保管しないで下さい。
- ◎ 高温多湿、振動衝撃のある場所、寒暖の差の激しい場所に保管しないで下さい。
- ◎ 強い振動、衝撃を与えないように、運搬して下さい。
- ◎ 運搬する時には、梱包された箱に収めた状態で運んで下さい。
- ◎ 安全のため計器の改造は絶対に行わないで下さい。
- ◎ 通信端子DT-SGは、接続を誤らないようにご注意下さい。



注意 (取扱を誤った場合、機能低下や誤計量となることが想定されます。)

- ◎ 発信パルス端子 CA-CB は、接続を誤らないようご注意ください。
- ◎ 発信パルス端子 CA-CB に接点容量 (110VAC または 100VDC, 100mA) を超える負荷を接続しないで下さい。
- ◎ 計器の補修・修理・器差調整は弊社の指定業者で行って下さい。
- ◎ 計器を廃棄する場合は、産業廃棄処理法に従って適切に廃棄して下さい。



危険 (取扱を誤った場合、危険な状況が発生し感電・死傷をうける可能性があります。)

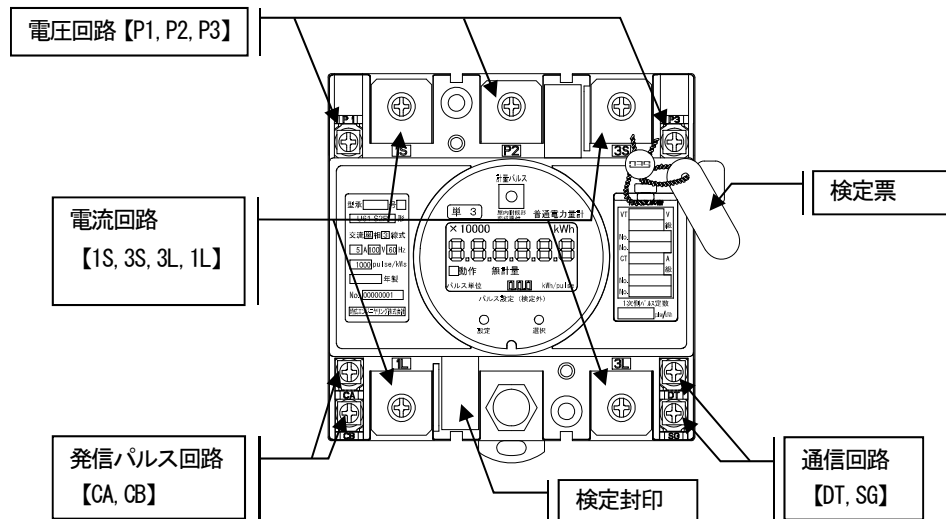
- ◎ 作業は有資格者 (電気工事専門の技術を有する人) が行って下さい。
- ◎ 計器の取付、交換作業は通電中 (活線中) に行わないで下さい。
- ◎ 計器の定格 (相線式、電圧、電流、周波数) をご確認ください。
- ◎ 計器への接続は接続方法に従って行って下さい。
- ◎ 各端子間が短絡しないよう接続して下さい。
- ◎ 締付けは規定の締付トルクで確実に実施して下さい。
- ◎ 締付けに緩みがあると熱が発生し焼損・火災の原因となります。また、過度の締付けは端子やねじの破壊の原因となります。適切に締付けるようにして下さい。
- ◎ 接続が終わりましたら、端子カバーを取り付けて下さい。
- ◎ 端子部などの充電露出部はテーピング・絶縁チューブ等で被覆して下さい。
- ◎ 計器のカバーは外さないで下さい。
- ◎ 電源は配線を確認してから入れて下さい。
- ◎ 充電部 (電圧接続端子、電流接続端子)、通信端子、発信パルス端子は (感電の恐れがあるため) 触れないで下さい。
- ◎ 変流器の 2 次側端子は絶対にオープンしないで下さい。高電圧が発生し、感電および変流器焼損の恐れがあります。
- ◎ 変圧器の 2 次側端子は絶対に短絡しないで下さい。変圧器焼損の恐れがあります。

⚠ **その他のご注意事項**

◎ 絶縁抵抗試験実施時の注意

絶縁試験を実施する時は、『試験箇所』『試験内容』を確認の上、実施して下さい。

試験箇所	試験用電圧接続片	試験内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電圧回路—ケース間 ・ 電流回路—ケース間 ・ 通信回路—ケース間 ・ 発信パルス回路—ケース間 ・ 通信回路—電圧・電流回路間 ・ 電圧回路—電流回路間 ・ 電流回路相互間 	非接続（開放）	DC500V 印加 20MΩ 以上



◎ 検定付計器について

取引・証明用に使用する計器は検定付でありかつ検定有効期間内のものを使用しないと計量法違反となります。（計量法 172 条 六ヶ月以下の懲役若しくは五十万以下の罰金に処し、又はこれを併科する。）

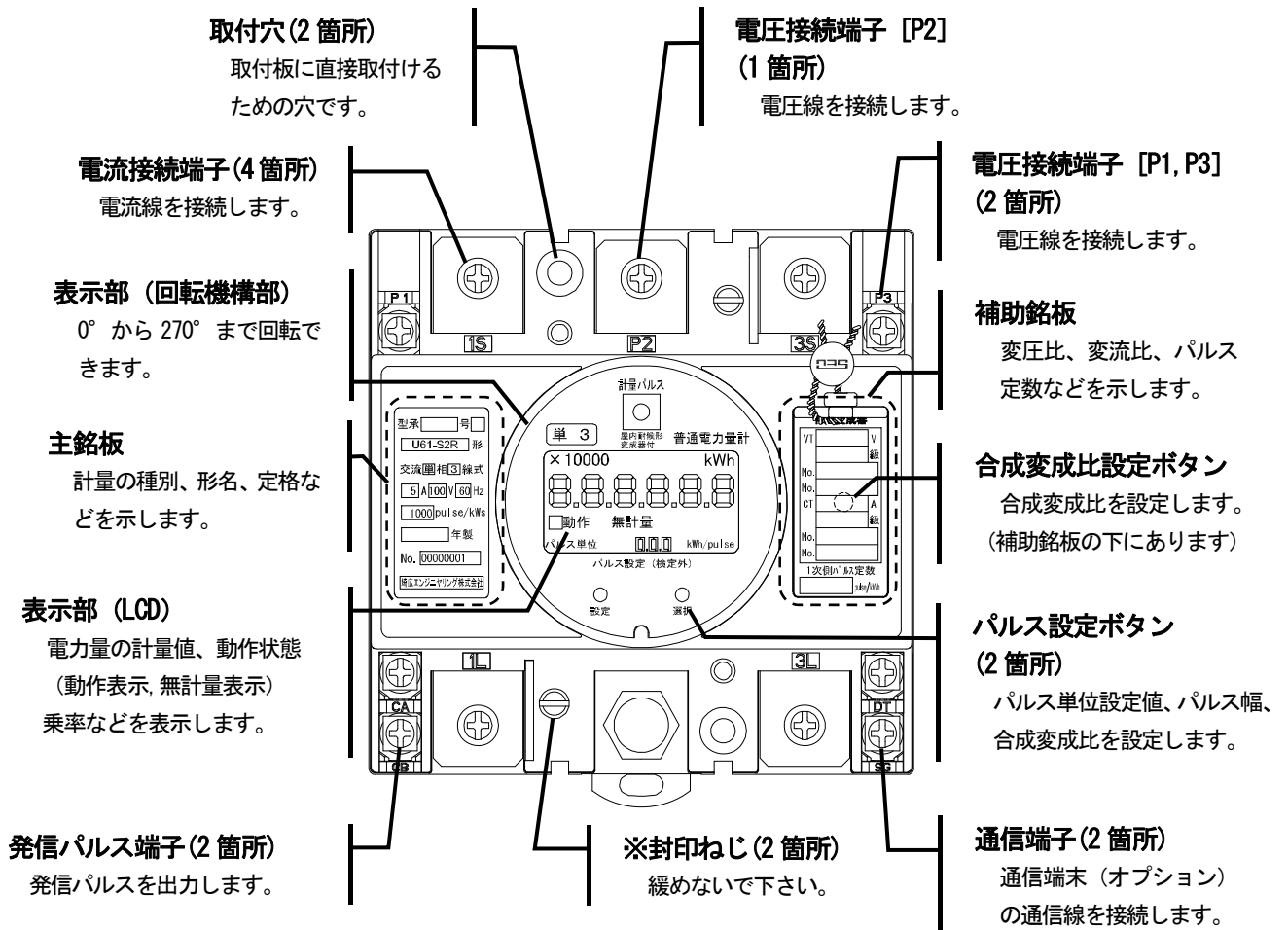
検定の有効期間は検定票に表示されていますので、よくご確認の上、検定有効期間内で使用して下さい。（有効期限 7 年）

また、検定封印を損傷しないようご注意ください。

検定封印を損傷するとその封印は無効となり、取引・証明用に使用できなくなります。

各部の名称と機能

本体



表示部

乗率表示

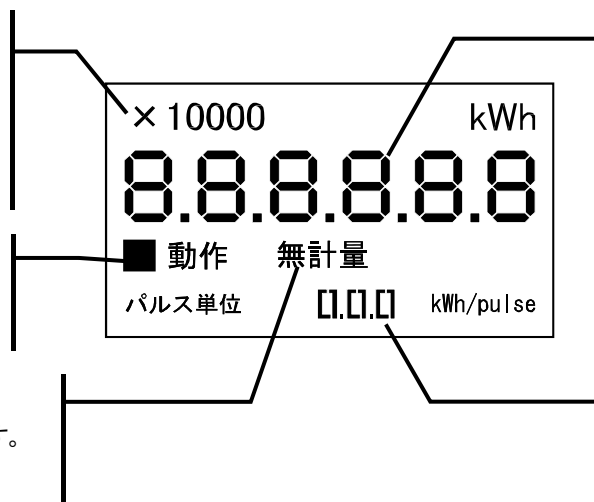
乗率を表示します。
設定した合成変成比により自動判定します。

動作表示

計量している時に点滅します。

無計量表示

無負荷の時に点灯します。



計量値

全負荷電力 10kW未満
0000.00 (整数部 4 桁, 小数部 2 桁)

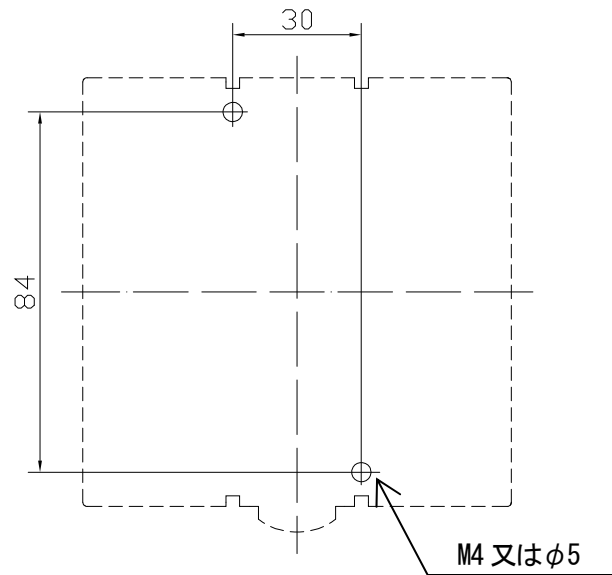
全負荷電力 10kW以上
00000.0 (整数部 5 桁, 小数部 1 桁)

発信パルス単位

パルス単位設定値を点灯します

取付方法

ねじ止め



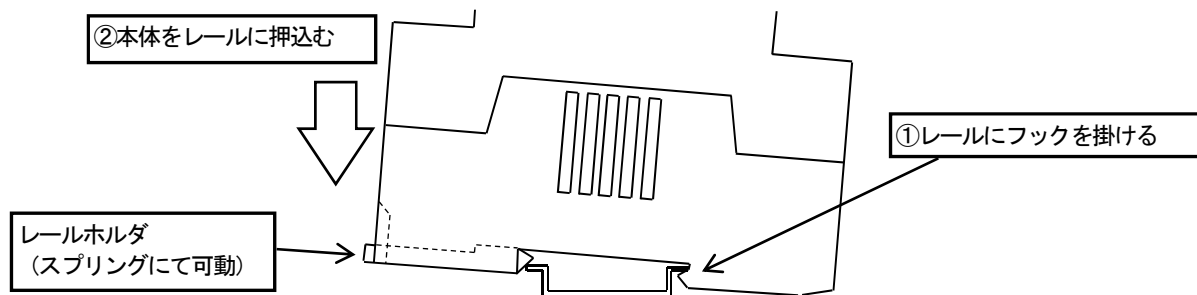
※M4ねじは1.0~1.3N・mで締付けて下さい。

※表示部（液晶表示）は見る角度（視野角）によってコントラストが変化します。

IEC レールへの着脱

《取付方法》

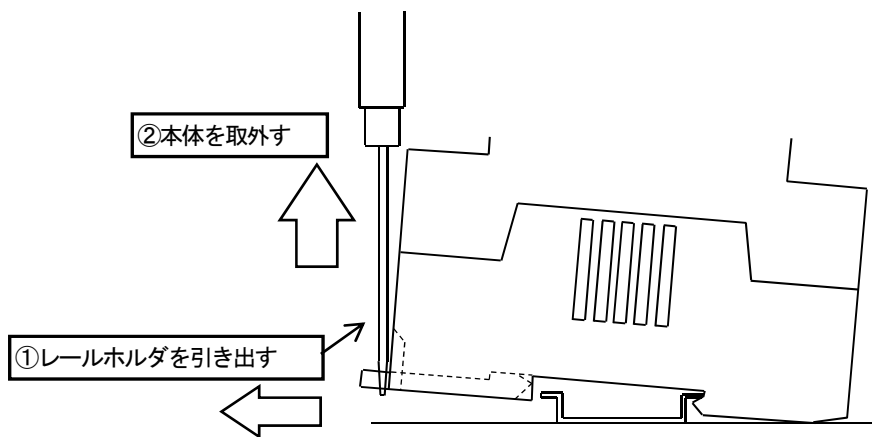
- ①本体底部のレールホルダがついていない側のフックをレールに掛け、②本体をレールに押し込んで取付ます。



IEC 35mmレールへの取付方法

《取外し方法》

- ①レールホルダをマイナスドライバ等で引き出しながら、②本体を上げます。

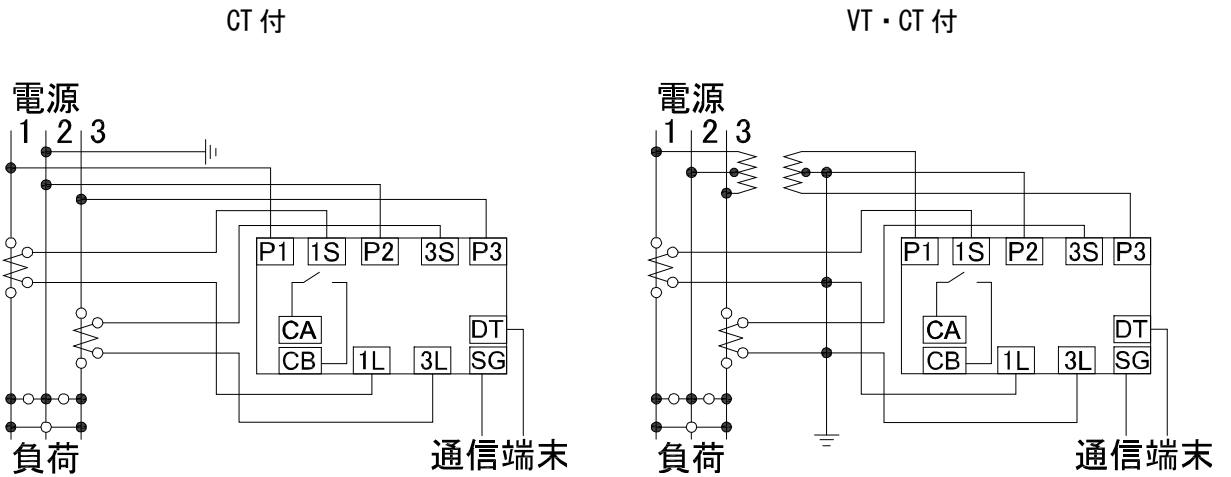


IEC 35mmレールへの取外し方法

※表示部（液晶表示）は見る角度（視野角）によってコントラストが変化します。

接続方法

接続



端子接続

	ねじ仕様	接続方法	締付トルク (N・m)
電圧接続端子 (P1, P3)	M3 ねじ	M3 ねじ用絶縁被覆付丸型圧着端子を使用して下さい。	0.4~0.6
電圧接続端子 (P2) 電流接続端子 (1S, 3S, 3L, 1L)	M4 ねじ	M4 ねじ用絶縁被覆付丸型圧着端子を使用して下さい。	0.7~0.9
通信端子 (DT, SG) 発信パルス端子 (CA, CB)	M3 ねじ	M3 ねじ用絶縁被覆付丸型圧着端子を使用して下さい。	0.4~0.6

※圧着端子を圧着する際には、メーカー推奨の圧着工具をご使用下さい。

※充電露出部はテーピング、絶縁チューブ等で被覆して下さい。

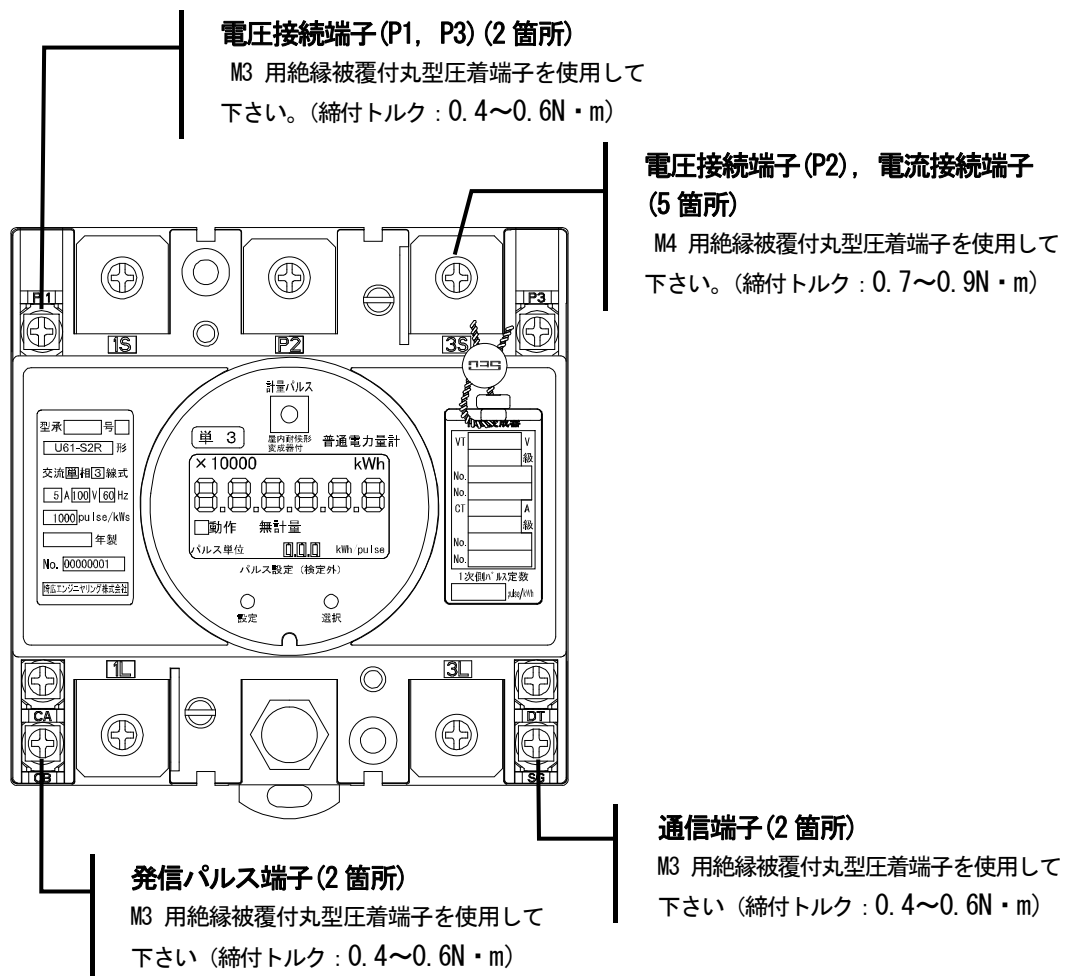


注意

端子の締付について


ねじ等が破壊する恐れがあります。

指定トルク以上で締付けしないで下さい。



端子カバー取付

接続が終わりましたら、端子カバーを取付けて下さい。
端子カバーねじは0.3~0.4 N・mで締付けて下さい。

 注意	端子カバーの取付けについて、ねじ等が破壊する恐れがあります。指定トルク以上で締付けしないで下さい。
--	---

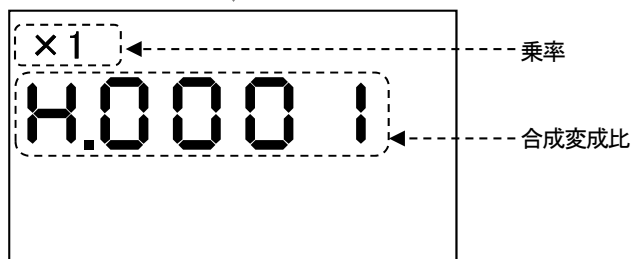
表示機能

本計器には、計量値の現在値と乗率を表示する機能が装備されています。
通電してからの表示は下記のとおりです。

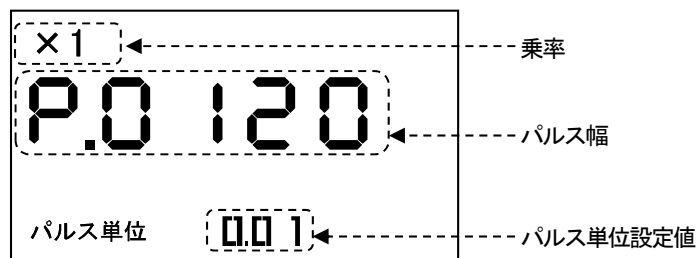
【起動時】



通電後 2 秒間全点灯

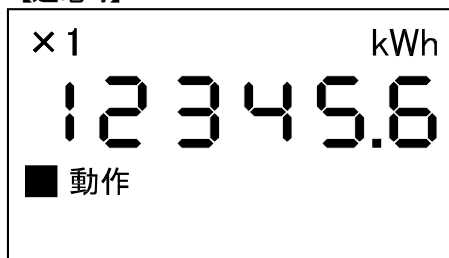


合成変成比、乗率を 2 秒間点灯



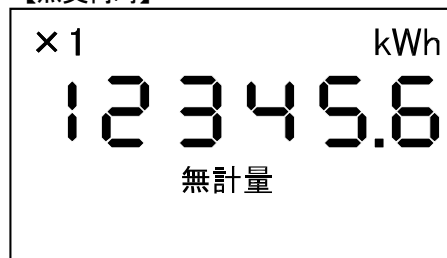
乗率、パルス単位設定値、パルス幅を 2 秒間点灯

【通電時】



現在値表示（動作コロン点滅）

【無負荷時】



現在値表示（無計量点灯）

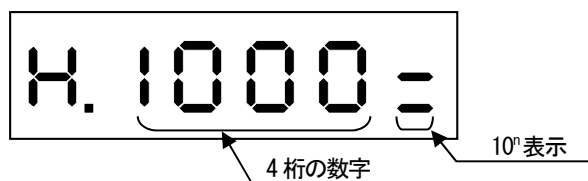
※電源投入（または復電）時の動作について

LCD を 2 秒間全点灯します。

全点灯後、合成変成比、乗率を 2 秒間点灯します。

合成変成比の表示方法は以下のとおりです。

(例) 100000 [1000×10²]



表示桁数	
5桁	
[4桁の数字] × [10 ⁿ (右端数字)] で表示	
[10 ⁿ (右端数字)] の表示は下記のとおり	
[10 ⁰] :	
[10 ¹] :	
[10 ²] :	
[10 ³] :	

合成変成比、乗率を表示後、パルス単位設定値、パルス幅を 2 秒間点灯してから動作状態に移ります。

※動作コロンの点滅について

使用する電力量によって点滅スピードが変化します。

※停電時の動作について

計量動作を中止し、表示が消灯します。

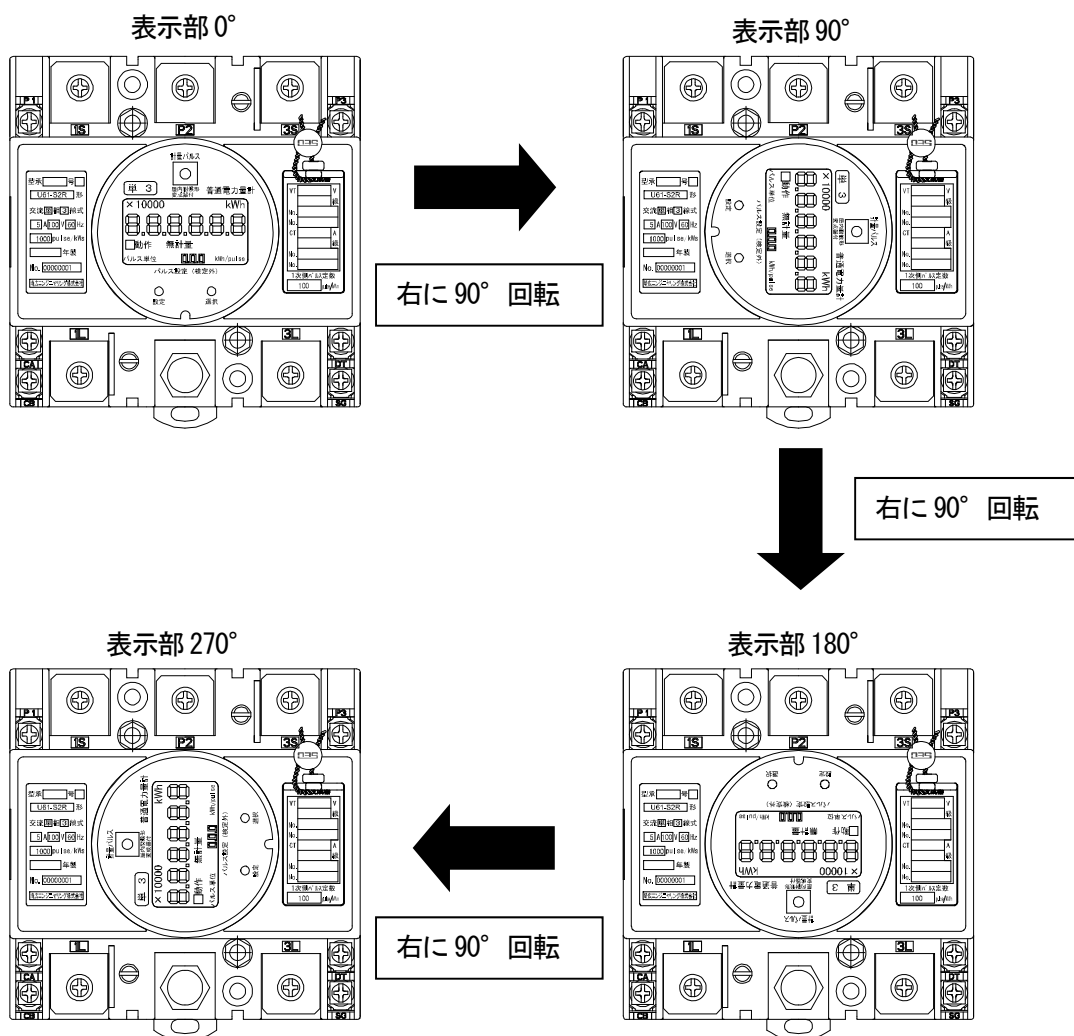
復電時、停電前の計量値を表示します。

(計量値は、内部不揮発性メモリに保存しており、復電時には停電前の計量値を表示します。)

表示部の回転機能

本計器の表示部は回転する機能が装備されています。

下図のとおり、 0° から右方向に 270° 回転できます。(回転角度は 90° 毎)



注意

左方向 0° 、右方向 270° を超える回転はできません。
無理に回転すると表示回転部が破壊する恐れがあります。

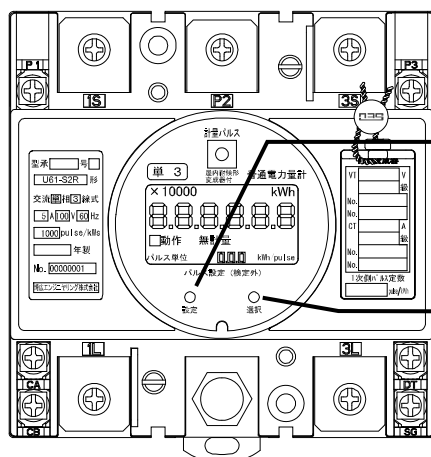
発信パルスの設定

本計器は、パルス設定ボタン（設定、選択）により発信パルスのパルス単位設定値、パルス幅を設定できます。

※パルス単位設定値のデフォルト値は [1]、パルス幅のデフォルト値は [120ms] となります。

※ボタン操作には鋭利でなく、φ2.0以下で長さ10mm以上のセラミックドライバ等の工具をご使用下さい。

※発信パルスを取引・証明用で使用する場合、出荷時にパルス設定ボタンを封印するため、設定変更はできません。



「設定」ボタン

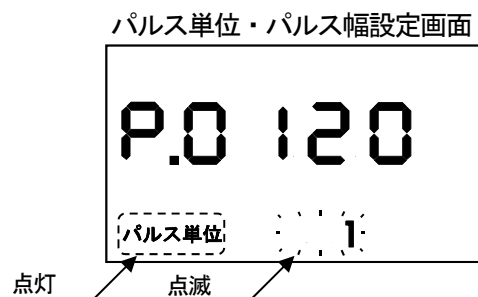
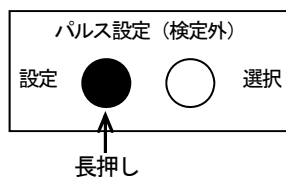
- ・設定モードへの移行。(3秒長押し)
- ・設定の確定。

「選択」ボタン

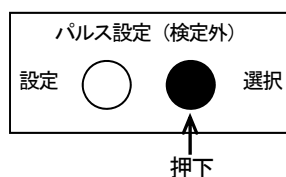
- 任意のパルス単位設定値、パルス幅を選択。
(パルス単位設定値 : 0.01, 0.1, 1, 10)
(パルス幅 : 60ms, 120ms, 240ms, 520ms, 820ms, 1020ms)

例：パルス単位設定値を『0.01』、パルス幅を『520ms』に設定する場合

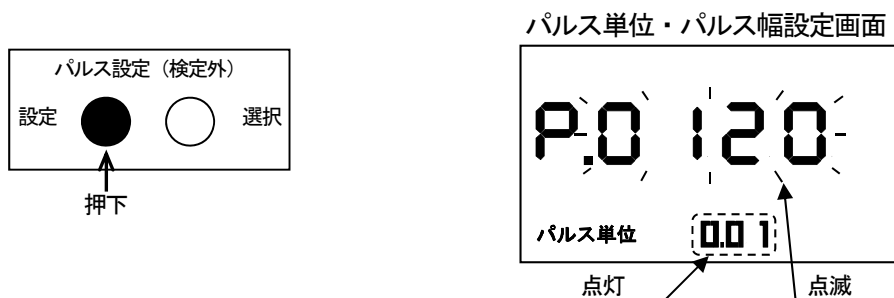
- ① 「設定」ボタンの長押し（3秒）で、[パルス単位・パルス幅設定画面] に移行します。
『パルス単位』が点灯、『パルス単位設定値』が点滅表示します。



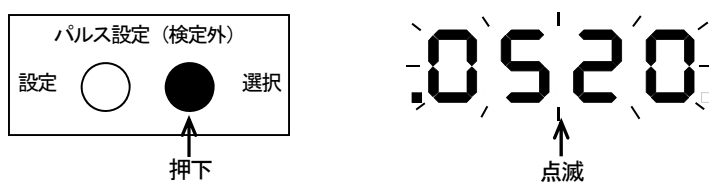
- ② 「選択」ボタンを押す毎に、『1』⇒『0.1』⇒『0.01』⇒『10』⇒『1』の順に表示が切替ります。表示を『0.01』にします。



- ③「設定」ボタンを押すことで、パルス幅の設定に移行します。パルス幅設定値が点滅表示します。



- ④「選択」ボタンを押す毎に、『0120』⇒『0240』⇒『0520』⇒『0820』⇒『1020』⇒『0060』⇒『0120』の順に表示が切替ります。表示を『0520』にします。



- ⑤「設定」ボタンを押すことで、『パルス単位設定値』、『パルス幅設定値』が記憶され、3秒間点灯します。これでパルス単位設定値が『0.01』、パルス幅が『520ms』に確定されます。

10ページの表示機能を参照し、設定に誤りがないことを確認してご使用下さい。
設定後のパルス単位 (kWh/pulse) はパルス単位設定値×乗率となります。

合成変成比の設定

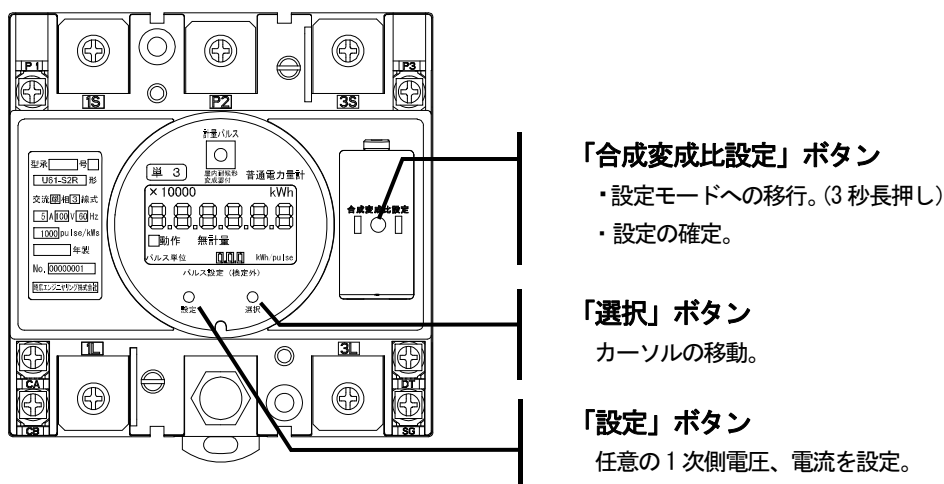
本計器は、下図の合成変成比設定ボタン、パルス設定ボタン（設定、選択）により合成変成比（1次側電圧、1次側電流）の設定ができます。

また、乗率は設定した合成変成比により自動判定します。

※合成変成比のデフォルト値は1、乗率のデフォルト値は1となります。

※ボタン操作には鋭利でなく、φ2.0以下で長さ10mm以上のセラミックドライバ等の工具をご使用下さい。

※検定付をご購入の場合、検定後封印されるため、合成変成比の設定変更はできません。ご購入時にご指定下さい。



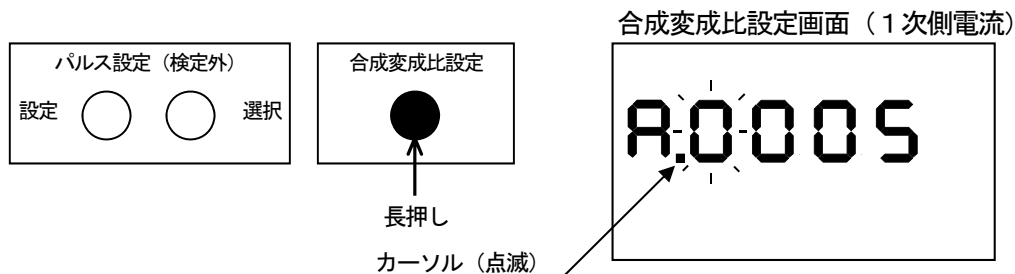
1. CT付計器

1次側電流の設定範囲は『5A～6000A』、デフォルト値は『5A』となります。

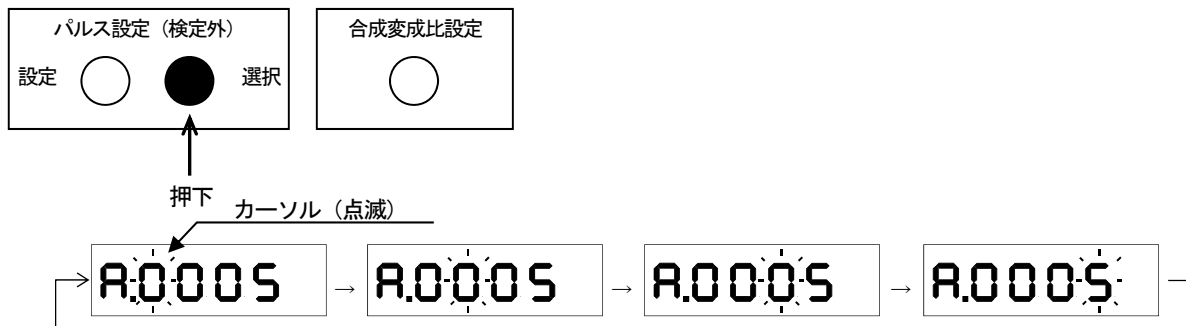
例：CT比を100/5Aに設定する場合

①「合成変成比設定」ボタンの長押し（3秒）で、[合成変成比設定画面（1次側電流）]に移行します。

1次側電流値の左端の桁の数字が点滅表示します（点滅表示部がカーソル位置となります）。

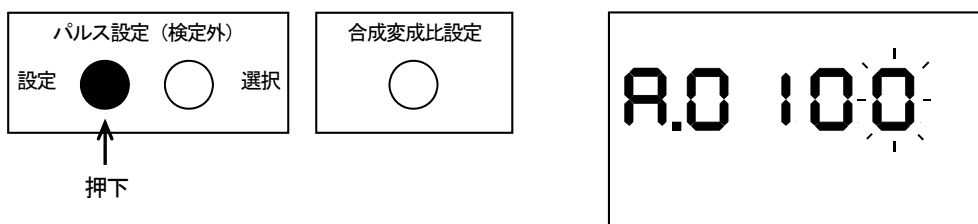


②「選択」ボタンを押す毎に、設定値のカーソル（点滅する桁）が右に移動します。



③「設定」ボタンを押す毎に、[4桁の数字]は以下のとおりとなります。

②、③の操作より、表示を『0100』にします。



[下位1桁目の数字]：[0]と[5]を交互に切替えます。

[0] → [5] → [0] → [5]

[下位2桁、3桁目の数字]：+1ずつ加算します。(設定範囲：0~9)

[0] → [1] → [2] → … → [8] → [9] → [0] → [1]

[下位4桁目の数字]：+1ずつ加算します。(設定範囲：0~6)

[0] → [1] → [2] → … → [5] → [6] → [0] → [1]

④「合成変成比設定」ボタンを押すことで、1次側電流値が記憶され、3秒間設定した電流値が点灯します。これでCT比が『100/5A』に確定されます。

設定した合成変成比は、電源を再投入することで反映されます。

10ページの表示機能を参照し、設定に誤りがないことを確認してご使用下さい。

2. VT・CT付計器

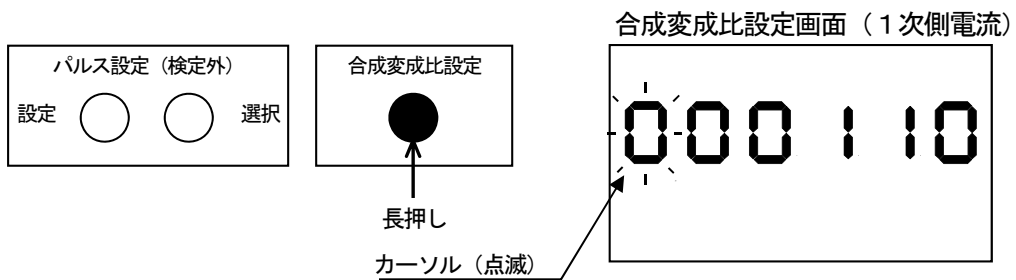
1次側電圧の設定範囲は『110V～110000V』、デフォルト値は『110V』となります。

1次側電流の設定範囲は『5A～6000A』、デフォルト値は『5A』となります。

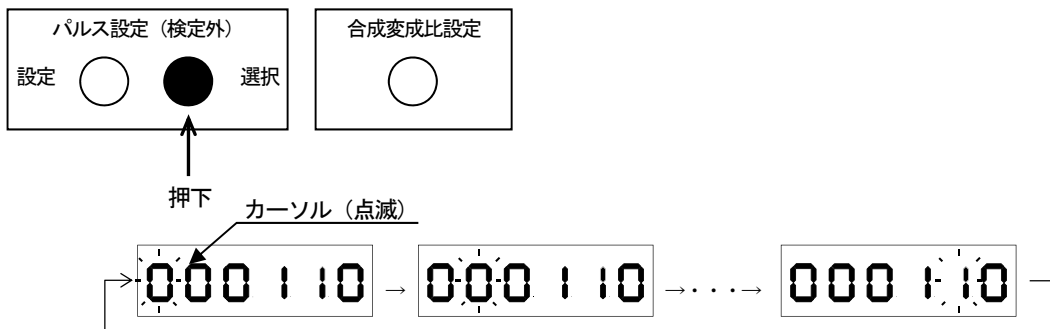
例：VT比を6600/110V，CT比を100/5Aに設定する場合

①「合成変成比設定」ボタンの長押し（3秒）で、[合成変成比設定画面（1次側電圧）]に移行します。

1次側電圧値の左端の桁の数字が点滅表示します（点滅表示部がカーソル位置となります）。

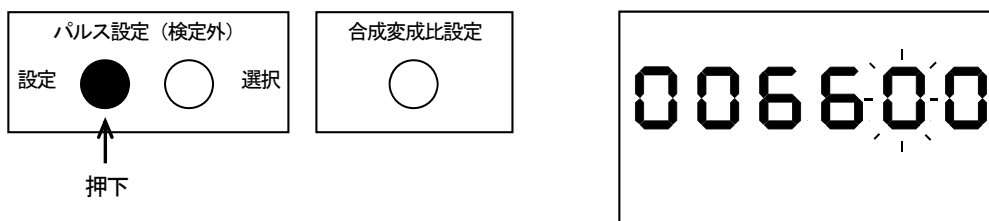


②「選択」ボタンを押す毎に、設定値のカーソル（点滅する桁）が右に移動します。



③「設定」ボタンを押す毎に、[6桁の数字]は以下のとおりとなります。

②、③の操作より、表示を『006600』にします。



[下位1桁目の数字] : 設定不可 ([0] 固定)

[下位2~5桁目の数字] : +1ずつ加算します。(設定範囲: 0~9)

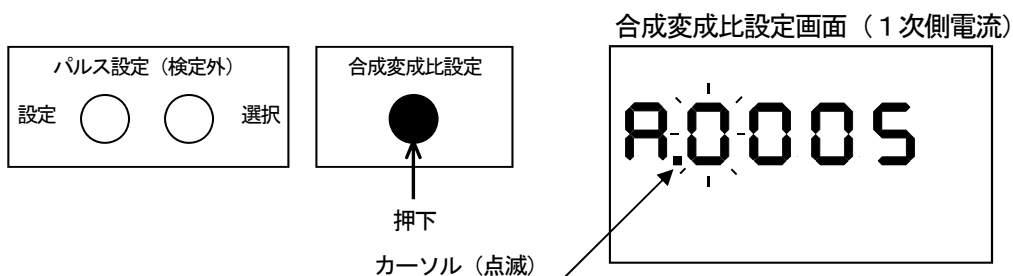
[0] → [1] → [2] → ... → [8] → [9] → [0] → [1]

[下位6桁目の数字] : [0] と [1] を交互に切替えます。

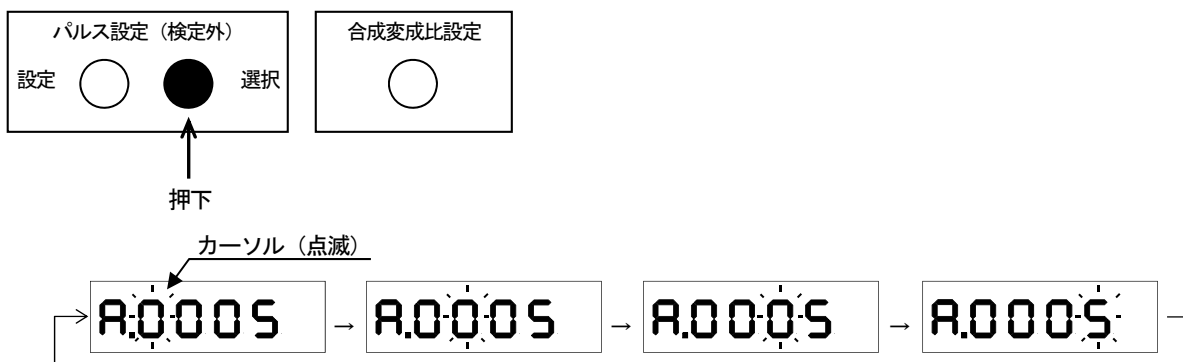
[0] → [1] → [0] → [1]

④「合成変成比設定」ボタンの押すことで、[合成変成比設定画面 (1次側電流)] に移行します。

1次側電流値の左端の桁の数字が点滅表示されます (カーソルがこの桁にある)。

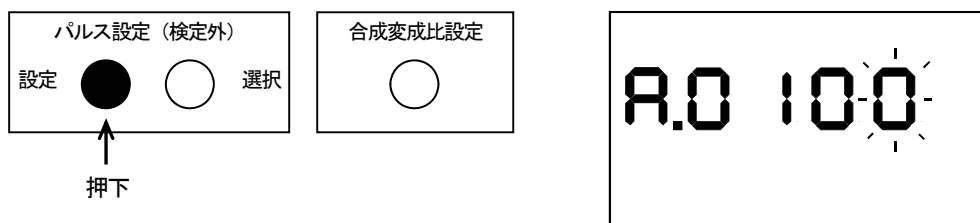


⑤「選択」ボタンを押す毎に、設定値のカーソル (点滅する桁) が右に移動します。



⑥「設定」ボタンを押す毎に、[4桁の数字]は以下のとおりとなります。

⑤、⑥の操作より、表示を『0100』にします。



[下位1桁目の数字] : [0] と [5] を交互に切替えます。

[0] → [5] → [0] → [5]

[下位2桁、3桁目の数字] : +1ずつ加算します。(設定範囲: 0~9)

[0] → [1] → [2] → ... → [8] → [9] → [0] → [1]

[下位4桁目の数字] : +1ずつ加算します。(設定範囲: 0~6)

[0] → [1] → [2] → ... → [5] → [6] → [0] → [1]

⑦「合成変成比設定」ボタンを押すことで、1次側電圧・電流値が記憶され、設定した電圧値が3秒間点灯した後、設定した電流値が3秒間点灯します。これでVT比が『6600 / 110V』、CT比が『100 / 5A』に確定されます。

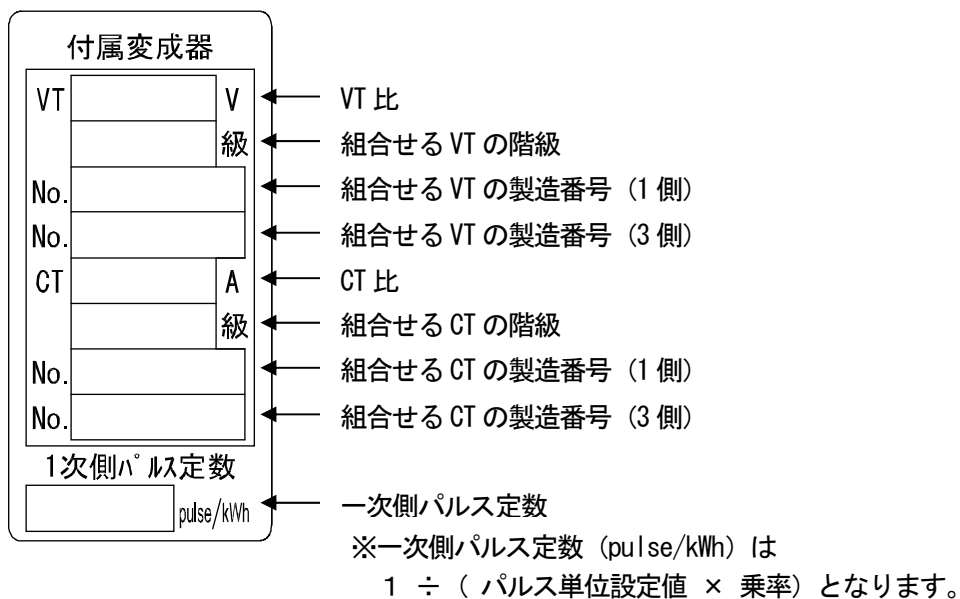
設定した合成変成比は、電源を再投入することで反映されます。

10ページの表示機能を参照し、設定に誤りがないことを確認してご使用下さい。

補助銘板の表示について

発信パルスおよび合成変成比の設定が終わりましたら、設定値をラベルライター等で作成し、補助銘板の「付属変成器」と「1次側パルス定数」の欄に貼り付けて下さい。

※検定付のご購入またはご購入時に設定値をご指定いただいた場合、補助銘板は記入した状態で出荷となるためご記入する必要はありません。



<貼り付け欄の有効サイズ>

項目	有効サイズ
VT 比	3mm × 9.5mm
組合せる VT の階級	
組合せる VT の製造番号 (1 側, 3 側)	3mm × 11.4mm
CT 比	3mm × 9.5mm
組合せる CT の階級	
組合せる CT の製造番号 (1 側, 3 側)	3mm × 11.4mm
一次側パルス定数	3mm × 9.7mm

合成変成比・乗率一覧表

下表は計器用変成器の一次側定格電圧と電流から求められる合成変成比と乗率を一覧表にしたものです。

①CT付

		電圧			乗率
		单相3線式	三相3線式		
		100	100	200	
変流器一次側定格電流(A) (二次側定格電流5A)		1	1	1	1
	10	2	2	2	
	15	3	3	3	
	20	4	4	4	
	25	5	5	5	
	30	6	6	6	
	40	8	8	8	
	50	10	10	10	
	60	12	12	12	
	75	15	15	15	
	80	16	16	16	
	100	20	20	20	
	120	24	24	24	
	150	30	30	30	
	200	40	40	40	
	250	50	50	50	
	300	60	60	60	10
	400	80	80	80	
	500	100	100	100	
	600	120	120	120	
	750	150	150	150	
	800	160	160	160	
	1000	200	200	200	
	1200	240	240	240	
	1500	300	300	300	
	2000	400	400	400	
	2500	500	500	500	
3000	600	600	600	100	
4000	800	800	800		
5000	1000	1000	1000		
6000	1200	1200	1200		

②VT・CT付

		計器用変圧器一次側定格電圧 (V)											乗率	
		三相3線式 (二次側定格電圧 110V)												
		110	220	440	3300	6600	11000	22000	33000	66000	77000	110000		
変流器 一次側定格電流 (A)	5	1	1	2	4	30	60	100	200	300	600	700	1000	10
	10		2	4	8	60	120	200	400	600	1200	1400	2000	100
	15		3	6	12	90	180	300	600	900	1800	2100	3000	
	20		4	8	16	120	240	400	800	1200	2400	2800	4000	
	25		5	10	20	150	300	500	1000	1500	3000	3500	5000	
	30		6	12	24	180	360	600	1200	1800	3600	4200	6000	
	40		8	16	32	240	480	800	1600	2400	4800	5600	8000	
	50		10	20	40	300	600	1000	2000	3000	6000	7000	10000	
	60		12	24	48	360	720	1200	2400	3600	7200	8400	12000	1000
	75		15	30	60	450	900	1500	3000	4500	9000	10500	15000	
	80		16	32	64	480	960	1600	3200	4800	9600	11200	16000	
	100		20	40	80	600	1200	2000	4000	6000	12000	14000	20000	
	120		24	48	96	720	1440	2400	4800	7200	14400	16800	24000	
	150		30	60	120	900	1800	3000	6000	9000	18000	21000	30000	
	200		40	80	160	1200	2400	4000	8000	12000	24000	28000	40000	
	250		50	100	200	1500	3000	5000	10000	15000	30000	35000	50000	
	300		60	120	240	1800	3600	6000	12000	18000	36000	42000	60000	
	400		80	160	320	2400	4800	8000	16000	24000	48000	56000	80000	
	500		100	200	400	3000	6000	10000	20000	30000	60000	70000	100000	
	600	10	120	240	480	3600	7200	12000	24000	36000	72000	84000	120000	10000
750	150		300	600	4500	9000	15000	30000	45000	90000	105000	150000		
800	160		320	640	4800	9600	16000	32000	48000	96000	112000	160000		
1000	200		400	800	6000	12000	20000	40000	60000	120000	140000	200000		
1200	240		480	960	7200	14400	24000	48000	72000	144000	168000	240000		
1500	300		600	1200	9000	18000	30000	60000	90000	180000	210000	300000		
2000	400		800	1600	12000	24000	40000	80000	120000	240000	280000	400000		
2500	500		1000	2000	15000	30000	50000	100000	150000	300000	350000	500000		
3000	600		1200	2400	18000	36000	60000	120000	180000	360000	420000	600000		
4000	800		1600	3200	24000	48000	80000	160000	240000	480000	560000	800000		
5000	1000		2000	4000	30000	60000	100000	200000	300000	600000	700000	1000000		
6000	100	1200	2400	4800	36000	72000	120000	240000	360000	720000	840000	1200000		

パルス単位および合成変成比の設定許容範囲

設定許容範囲は下表のとおりとなります。

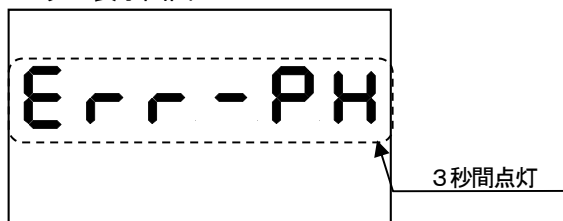
パルス単位設定値が0.01でパルス幅が240ms以上の場合、合成変成比の設定によってはパルス出力のOFF時間がON時間より短くなるため、設定できません。

[パルス単位設定値0.01の合成変成比許容範囲]

パルス幅	単相3線式 100V /5A	三相3線式 100V /5A	三相3線式 200V /5A	三相3線式 /110V /5A
240ms	1~ 69 100~ 692 1000~1200(上限)	1~ 79 116~ 799 1160~1200(上限)	1~ 39 58~ 399 578~1200(上限)	1~ 72 105~ 726 1050~ 7260 10500~ 72600
520ms	1~ 33 100~ 333 1000~1200(上限)	1~ 38 116~ 384 1160~1200(上限)	1~ 19 58~ 192 578~1200(上限)	1~ 34 105~ 349 1050~ 3490 10500~ 34900
820ms	1~ 21 100~ 214 1000~1200(上限)	1~ 24 116~ 247 1160~1200(上限)	1~ 12 58~ 123 578~1200(上限)	1~ 22 105~ 224 1050~ 2240 10500~ 22400
1020ms	1~ 17 100~ 173 1000~1200(上限)	1~ 19 116~ 199 1160~1200(上限)	1~ 9 58~ 99 578~990	1~ 18 105~ 181 1050~ 1810 10500~ 18100

設定許容範囲を超えた値で設定すると、[エラー表示] となり、設定値は保存されません。

エラー表示画面



仕様一覧表

仕様

型名		U61-S2R	U71-S2R
相線式		単相3線式	三相3線式
定格電圧※1		AC100V	AC100V, AC200V, /AC110V
定格電流		/5A	
定格周波数		50Hz または 60Hz ※1	
表示	計量値	LCD表示6桁 (0000.00 kWh または 00000.0 kWh) ※2	
	動作	動作 (■)、無計量表示	
乗率		10の整数べき倍	
負担	電圧回路の電力損失	1W以下 [1VA以下]	
	電流回路の電力損失 (定格電流の1/2負荷)	1W以下 [1VA以下]	
外形寸法		W100×H100×D70	
質量		約0.6 kg	
取付方法		表面取付 (IECレール、ねじ止め)・前面接続	
準拠規格 (精度)		JIS-C-1216 (普通級2.0%)	
通信方式		カレントループ通信方式	
発信装置	接点構成	無電圧接点 (オン抵抗 12ΩMAX)	
	接点容量	110VAC または 100VDC, 100mA	
	パルス幅 ※3 ※4	60, <input type="text" value="120"/> , 240, 520, 820, 1020ms より選択	
	パルス単位設定値 ※3 ※4	10, <input type="text" value="1"/> , 0.1, 0.01 より選択 ※5	

(*) 通信および発信装置の仕様の詳細に関しては、巻末の連絡先までご連絡下さい。

※1. 定格電圧、定格周波数はご購入時にご指定下さい。

また、検定付をご購入の場合、計器用変成器の容量もご指定下さい。

※2. 計量値表示の桁区分 全負荷電力10kW未満 : 0000.00 kWh

全負荷電力10kW以上 : 00000.0 kWh

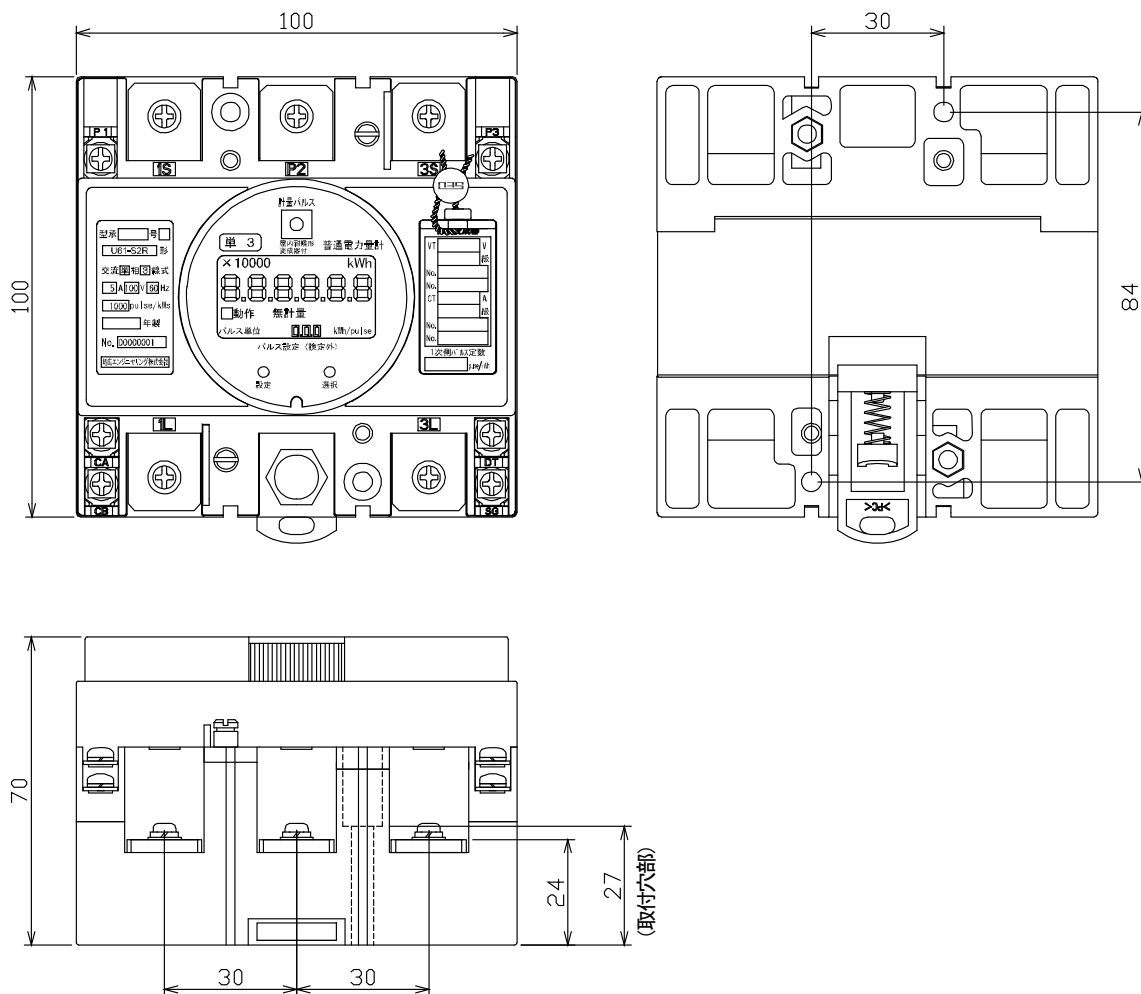
※3. 発信パルスを取引・証明用で使用する場合、出荷時にパルス設定ボタンを封印して出荷するため、設定の変更できません。ご購入時にご指定下さい。

※4. パルス幅およびパルス定数設定値は 内を標準とします。

※5. パルス定数 (pulse/kWh) は $1 \div (\text{パルス単位設定値} \times \text{乗率})$ となります。

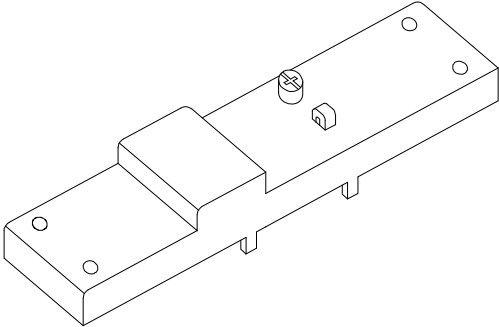
外形寸法図

本体



付属品

本計器には本体のほか、次の付属品があります。

部品名	数量	備考
端子カバー	2	本体に取り付けた状態で出荷します。 
取扱説明書	1	本書

困った時は・保証期間

●困った時は・・・

お客様でできる簡単な故障の見分け方とその処置方法を、次の表にまとめました。おかしいなと思ったらサービスをお申し付けになる前に一度ご確認下さい。下記項目以外の場合は、弊社までご連絡下さい。

また、納入品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれていませんので、ご了承下さい。

① 計量、通信、発信パルス出力などの異常について

状況	推定原因	確認（チェック）
表示しない	・ 接続に誤りがある。 ・ 電圧が印加されていない。	接続が正しいかご確認下さい。
計量動作しない 無計量表示が点灯	・ 接続（極性）に誤りがある。 (電流回路のSとLの逆接続等)	接続が正しいかご確認下さい。
計量値が少ない	・ 接続に誤りがある。 ・ 設定に誤りがある。	接続が正しいかご確認下さい。 合成変成比の設定に誤りがないか、 ご確認下さい。
計量値が多い	・ 接続に誤りがある。 ・ 設定に誤りがある。	接続が正しいかご確認下さい。 合成変成比の設定に誤りがないか、 ご確認下さい。
通信できない	・ 通信線の接続に誤りがある。	通信線の接続が正しいかご確認 下さい。
発信パルスが出力 しない	・ 接続に誤りがある。 ・ 設定に誤りがある。	接続が正しいかご確認下さい。 発信パルスの設定に誤りがないか、 ご確認下さい。

●保証期間

正常な使用状態で発生する故障については、納入品の保証期間は、弊社出荷後、1年と致します。

メモ

電子式普通電力量計（通信機能付） 取扱説明書

初版 2018年3月

埼玉エンジニアリング株式会社

本社 〒730-0821 広島県広島市中区吉島町 4-5
TEL : 082-249-6251 FAX : 082-249-6256

東京営業所 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-14-13 日本電気計器検定所別館 3号館 3F
TEL : 03-5439-6523 FAX : 03-5439-6524

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-2-27 AXIS SOUTH 四ツ橋ビル 803号
TEL : 06-6616-9450 FAX : 06-6616-9451

この取扱説明書の記載事項を改良のため、予告なしに変更する事がありますのでご了承下さい。